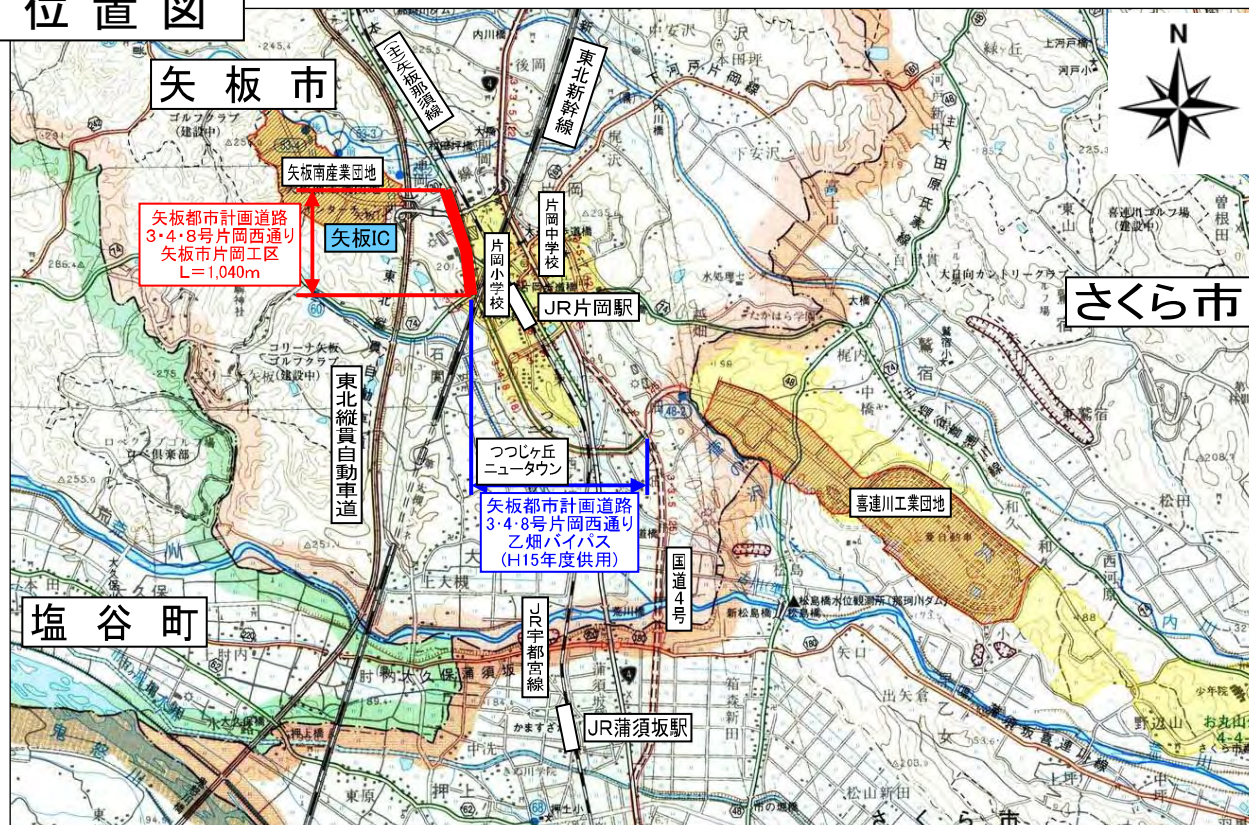


街路事業の再評価概要書

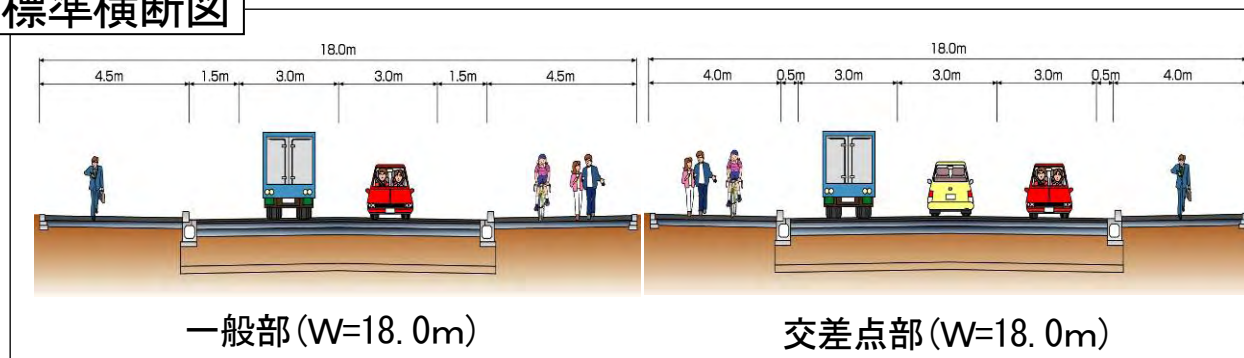
街路事業の再評価概要書			番 号	114
			事業主体	栃木県
事業名	街路づくり事業		事業所管課	県土整備部 都市整備課
路線・河川名	矢板都市計画道路 3・4・8号 片岡西通り		事業箇所名	矢板市片岡
事業区間	矢板市片岡		事業延長	1,040m
H14年度事業化		S48年度都市計画決定 (H14年度変更)		H14年度用地着手 H17年度工事着手
事業期間	H14年度～H27年度		事業進捗状況	基準年次：【平成23年度末時点】
[うち用地補償費] 全体事業費	[11.6億円] 19.1億円			進捗率 [うち用地補償費] [10.5億円] [91%] 既投資事業費 15.7億円 82%
事業概要				
<p>矢板都市計画道路3・4・8号片岡西通りは、矢板市南部の市街地から東北自動車道の矢板インターチェンジ、および国道4号にアクセスし、矢板市南部市街地の南北軸として、都市活動を支え都市の骨格をなす重要な都市内幹線道路である。</p> <p>本整備区間周辺には、矢板南産業団地、つつじヶ丘ニュータウン等が立地しており、交通が集中するため、朝夕を中心に交通渋滞が発生している。</p> <p>また、片岡小学校、片岡中学校やJR片岡駅が立地しているにもかかわらず、歩道が狭隘であり、さらに未整備区間も存在するため、通勤通学の自転車・歩行者が危険な状況となっている。</p> <p>以上のことから、良好な市街地の形成を促進するため、バイパス整備及び現道の拡幅により、交通の円滑化を図るとともに、安全で快適な自転車・歩行者空間を確保する。</p>				
事業を巡る社会経済情勢等の変化				
特に無し				
事業の投資効果				
<p>1 費用対効果分析結果 【総便益 (B)】 【総費用 (C)】</p> <p>(1) 事業全体 B/C= 2.4 54.1億円 22.4億円</p> <p>(2) 残事業 B/C= 6.7 22.2億円 3.3億円</p> <p>2 事業の整備効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通渋滞緩和と交通の円滑化 ・自転車・歩行者の安全で快適な通行空間の確保 ・市街地や地域産業拠点と東北縦貫自動車道や国道4号との連絡強化 				
事業の進捗状況等				
<p>1 事業の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道拡幅区間 (約680m) は、平成21年度に供用した。 ・残る区間 (約360m) については、用地の取得及び工事を推進している。 <p>2 今後の事業進捗の見込み</p> <p>今後は残る区間の用地の取得及び工事を推進し、平成27年度完成を目標に全線供用を図る。</p>				
コスト縮減等				
<p>1 コスト縮減方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生骨材、再生アスファルト合材を積極活用しコストを低減 ・当該工区の建設発生土を他工事に再利用しコストを低減 <p>2 代替案立案等の可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画の諸手続きを経て、ルート、車線数及び幅員を決定し、事業を実施している。また、大部分の用地を既に取得していることから、代替案立案は困難である。 				
事業の対応方針 (案) 現計画で事業を継続する。				

事業箇所 (位置図・概要図)

位置図



標準横断図



概要図

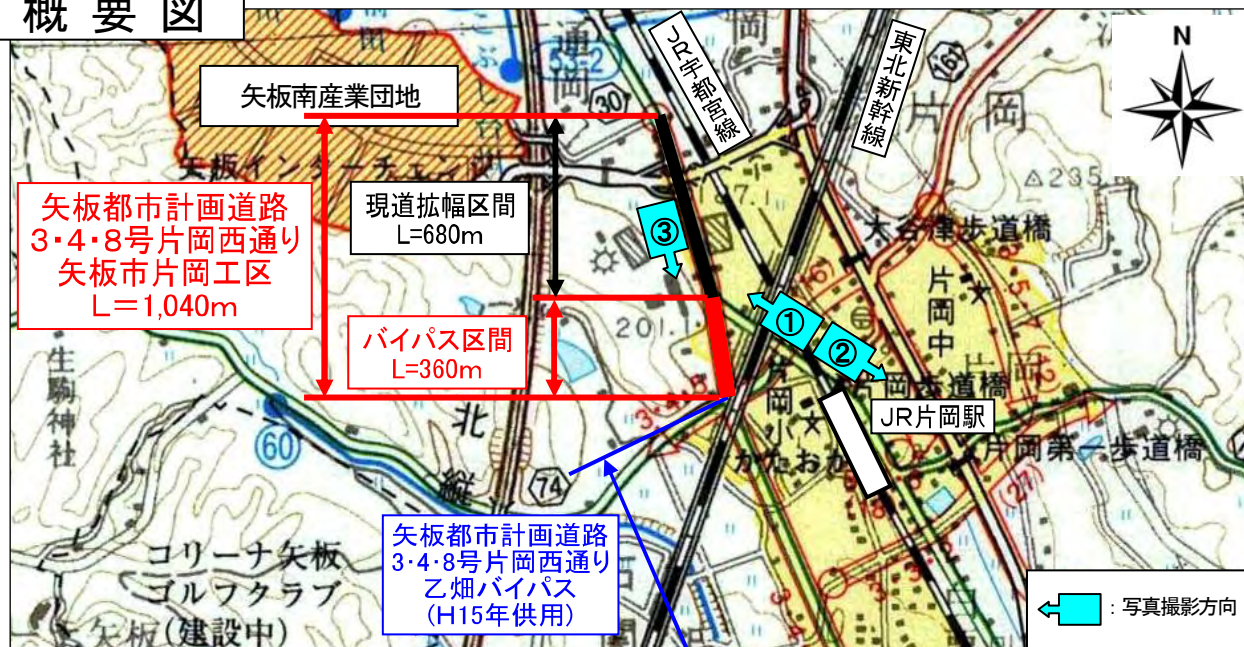




写真1：現道の渋滞状況（JR踏切部）



写真2：現道の道路状況（片岡地内）



写真3：部分供用状況（現道拡幅部、片岡地内）